

第3回 電子情報化委員会 議事録（抜粋）

日 時：2002年12月26日（木） 15:00～18:00

場 所：JCI 会議室

出席者：丸山委員長，中村幹事，小山，柄，橋本，馬場，日比野，森，山本の各委員，
（事務局）宇野，竹田，戸口，山下，（KCC）窪田，小林，三浦

配布資料：

3-0 議事次第

3-1 第2回電子情報化委員会議事録（案）

3-2 電子投稿システムに関するご報告（KCC）

3-3 コンクリート工学年次大会2003（Kyoto）実行委員会メモ（山本）

3-4 査読委員会幹事会（11/8）メモ（中村）

3-5-1 e-チケットシステム（KCC）

3-5-2 電子決済に係る調査報告書（案）（KCC）

3-6-1 平成14年度 電子情報化委員会名簿

3-6-2 JCI 電子情報化委員会

議 事：

1. 第2回議事録（案）の確認

- ・中村幹事より第2回電子情報化委員会議事録（案）の確認を行った。
- ・丸山委員長から、ACIへリンクしたこと、その旨をACIに連絡したことが報告された。

2. 論文投稿について（報告）

KCCより投稿システム運用状況および今後の予定と確認検討事項について報告があった。

- ・H14年12月9日投稿申込み締め切り，総申込み者数は809名であり，すべての申込みが電子投稿によってなされた。
- ・投稿申込み締め切り後の提出資料の申込み者一覧表は12月11日に事務局に提出され，個人別申込書（A4一枚×809枚）は12月13日に事務局に提出，12月25日に査読委員会に配布された。
- ・修正原稿・修正報告の書式の詳細は査読委員会に一任する。また，修正報告がない場合は，フォーマットにてその旨を明記の上送信することを確認する。
- ・CD-ROM作成に関して，700題の論文を掲載することが可能，ただし，実質は800題。

3. 年次大会関係作業について

山本委員より12月6日に開催された第4回コンクリート工学2003（Kyoto）実行委員会について報告があった。

- ・各部会に関して，コンクリートテクノプラザ部会と生コンセミナー部会に募集等の動きがあったのみで，電子化の関与は次回以降の実行委員会からとみられる。
- ・学会誌6月号の年次大会に関する情報掲載については，実行委員会に一任する。

4. 査読システムについて

(1) 中村幹事より2002年11月8日に開催された第2回査読委員会幹事会（11/8）について報告があった。

- ・査読システムは予定通り作成し，来年度から稼動する。
- ・修正事項および参考意見入力画面で「戻る」ボタンを押すと入力した項目が消去される点について，「保存して次へ」という注意書きで対応したが，「保存して次

へ」という言い方が分かりづらいという指摘があった。

- ・ 評価点の項目を変更する。
- (2) KCC より 2002 年 12 月 25 日に開催された査読委員会について報告があった。
 - ・ KCC より査読システムの操作方法等について説明をし、「保存して次へ」という注意書きは修正しないが、査読評価点は 5 段階から 4 段階へ修正することが確認された。
 - ・ 外部査読委員選定に関して、査読経験についてはつくば大会からの経験を採用する。
 - ・ 高知大会における外部査読委員の査読に関して、京都大会の外部査読委員に高知大会から PDF ファイルをダウンロードする形式に関するアンケート調査を実施する旨を査読委員会幹事会（1/23）にて提案する。また、そのスケジュールを電子化で決定する。
 - ・ 査読論文は郵送または PDF ファイルのダウンロード、査読意見は朱書きの上郵送または WEB 上への直接入力という方法が混在して実施されることになるが、電子化の意向である朱書きの禁止を今後実施するかどうかは査読委員会に一任する。
 - ・ 岸本委員の案により、電子化各委員が所有するプリンターで KCC から用意された PDF ファイルの印刷結果を持ち寄り、KCC はこれをサンプルとして活用、来年度からの PDF ファイルのダウンロード化を促進する。
 - ・ 執筆要領について、テンプレートの修正は査読委員会に一任する。
 - ・ 査読システム利用開始について、スケジュールは下記のとおり。
 - H13 年 12 月 28 日～H14 年 1 月 15 日：外部査読委員選定期間
 - H14 年 2 月 10 日～3 月 5 日：外部査読委員査読意見入力期間
 - H14 年 2 月 10 日～3 月 17 日：内部査読委員査読意見入力期間

5. 課金システムについて

KCC より e-チケットシステムについて説明があった。

- ・ ACI と JCI との会員サービスの相互関係を強化するために、英論文や出版物を ACI から購入できるようなシステムを構築する必要がある。
- ・ 決済方法として利便なクレジット決済は、利用最低価格の制限および手数料割高というデメリットがあるため、小額の決済方法は多様な方法があることも考慮して、決済方法をできるだけ単純化する。
- ・ 小額決済の中心となる JCI 論文検索に関して、畑中先生が作成されているデータベースに検索システムが構築されている場合は、完全にリンクできるシステムとする。また、今後、畑中先生との情報交換を蜜にする。
- ・ 電子決済の運用実現に関して、(1) KCC より提案された「電子決済に係る調査報告書（案）」を作成する（目次に「取扱商品」の項目を追加する）、(2) 論文・出版物・会誌のデータベース等「取扱商品」およびその管理方法等をピックアップする。

6. 今後の作業ならびに検討課題について

丸山委員長より WG の新設および編成が行われ、今後の作業ならびに検討課題が示された。

- ・ 電子査読 WG 構成メンバー：柄（主査）、岸本、橋本、森の各委員
→ 査読委員のデータベース更新の促進（指示）を含む。岸本委員を査読システムマニュアル対応窓口とする。
- ・ 年次大会 WG 構成メンバー：馬場、日比野、山本の各委員
→ 年次大会に関する講演部会・実行委員会のスケジュール管理および指示ならびに CD-ROM 論文集の構成
- ・ 課金システム WG 構成メンバー：斎藤（主査）、日比野の各委員

- 課金システムの構築・整備
- ・ 戦略 WG 構成メンバー：中村（主査）、小山、課金システム WG の各委員
 - JCI の電子化一般について検討する。
- ・ 今後の作業は、事務局内も含めた JCI 全体の電子化と課金システムが中心となる。

7. その他

- ・ 次回日程：H14 年 2 月 3 日（月）15:00 ～